

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県 下呂市

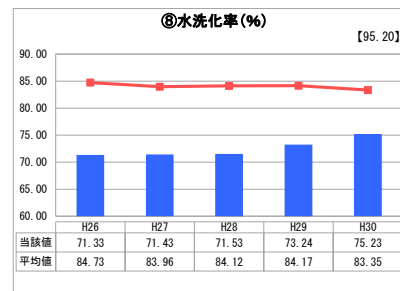
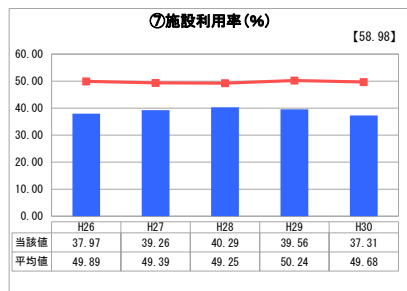
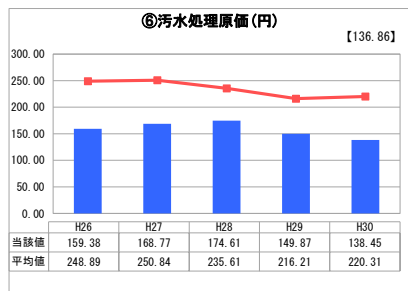
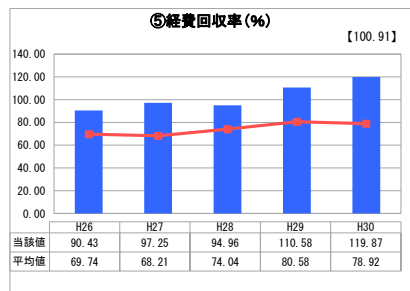
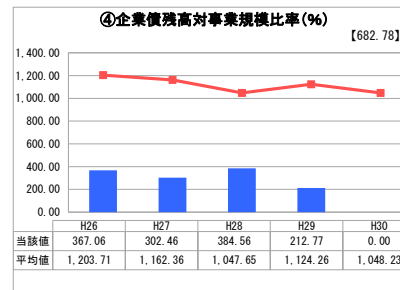
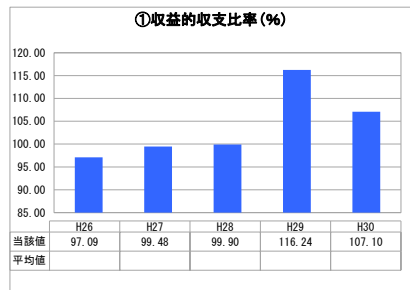
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	19.98	90.66	3,396

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
32,576	851.21	38.27
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
6,443	3.02	2,133.44

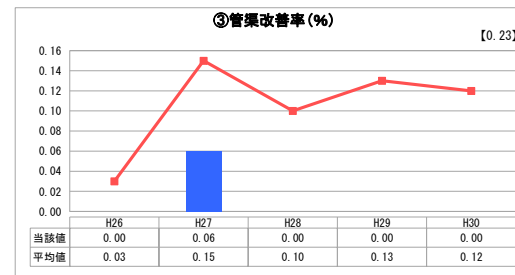
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は前年度を下回るが、100%を超えて黒字を維持している。前年度と比較して汚水原価は減少し、経費回収率は100%を超えて使用料で賄えている。地方債の償還に要する資金を一般会計で負担し、その増額により企業債残高対事業規模比率は0となる。今後の施設更新費用の確保と維持管理費の減少を図り、人口減少傾向のなかにおいても接続率の向上に努め健全な経営を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始後概ね30年を過ぎし老朽が進む施設が多く、機器の更新が迫られている。今後はストックマネジメント計画を策定し計画的な更新と不透明調査の結果に基づき管渠の改善も継続して行う。

全体総括

人口減少などにより、有収水量や水洗化率が減ると共に基金が枯渇したなかで老朽した施設の更新や耐震化に取り組むこととなる。料金改定を含む財源の確保や処理区域の統合など効率的な投資・運営を検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。